

リズムニュース

米沢市立病院

循環器内科

29号 2018年11月

ペースメーカーが入っている方の寿命

ペースメーカーを植込みする方の平均年齢がどんどん高齢化しています。ペースメーカー外来に通う方も高齢化してきました。「電池寿命はあと〇〇年くらいですね」というと「そんなに頑張れない」と弱気な返事をする方もいらっしゃいます。ペースメーカーが入っている方の寿命は普通の人より短いのでしょうか。当院では1979年からペースメーカー植え込み手術を行っていますが、最近の15年間で死亡した方(220人)を調べてみました。

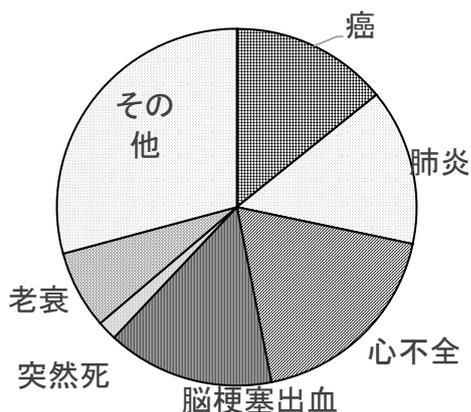
男性 94人 死亡時平均年齢 83.9歳

女性 126人 死亡時平均年齢 85.9歳 と日本人の平均寿命(男性 81歳 女性 87歳)と比べると女性では1年短く男性では3年長いという結果が出ました。

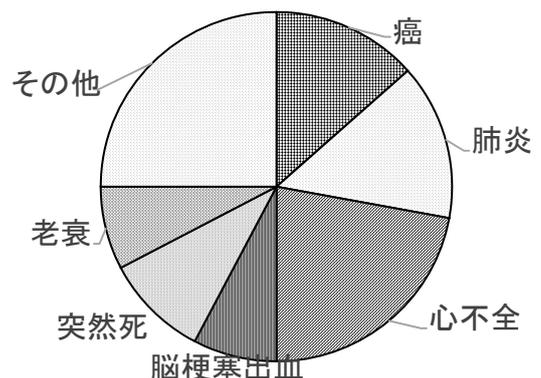
死亡原因は？

それでは死亡原因は他の人と違うのでしょうか。ペースメーカーを植え込む原因によって違いがあるようなので、それぞれについてみてみましょう。

徐脈性心房細動+洞不全症候群
117人



房室ブロック
103人



厚労省の平成 29 年の人口動態統計によると、癌27%、心疾患15%、脳梗塞や出血8.2% 老衰、肺炎はそれぞれ7.6%、7.2%でした。それに比べると心不全や肺炎が多い傾向にありますね。また房室ブロックのかたはそれ以外の方に比べると突然死が多く、逆に脳梗塞、出血で死亡する方が少ない傾向が見られました。(ご自分の病名がわからない時はペースメーカー手帳に記載してありますのでご覧ください)

心不全とは

2017年10月、日本循環器学会と日本心不全学会が、『心不全の定義』を発表しました。『心不全とは、心臓が悪いために、息切れやむくみが起こり、だんだん悪くなり、生命を縮める病気です。』我が国の心疾患による死亡数は、癌に次いで第2位ですが、ペースメーカーが入っている方では第1位です。心不全による5年生存率は50%と予後がわるく、何度も繰り返すのが特徴です。

心不全で入院してよくなっても、完治はありませんので、水分制限や心臓リハビリはつづけ、再入院しないように注意が必要です。

体が要求する血液を送り出せないために起こる症状

- 坂道・階段での息切れ
- 日中の尿量・回数の減少
- 手足が冷たい感じ
- 全身倦怠感

体に血液が滞ってしまう「うっ血」によって起こる症状

- 体重の増加 (2~3kg以上の増加)
- 夜間の尿量の増加
- 食欲不振
- むくみ
- 夜間の呼吸困難や咳